

## 10 環境に関する今後の事業活動

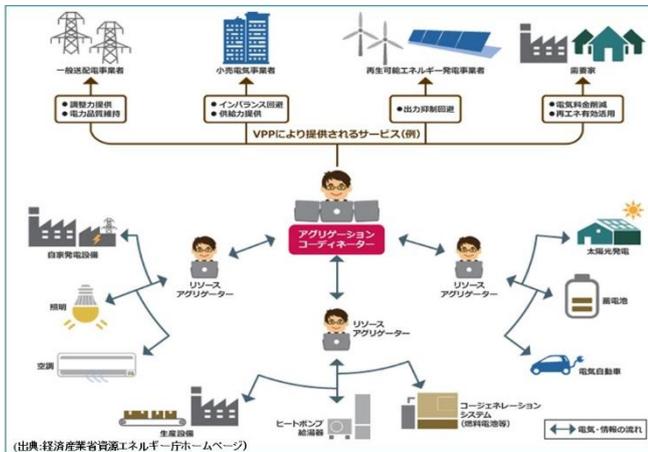


### (1) 仮想発電所（VPP）に関する共同研究について

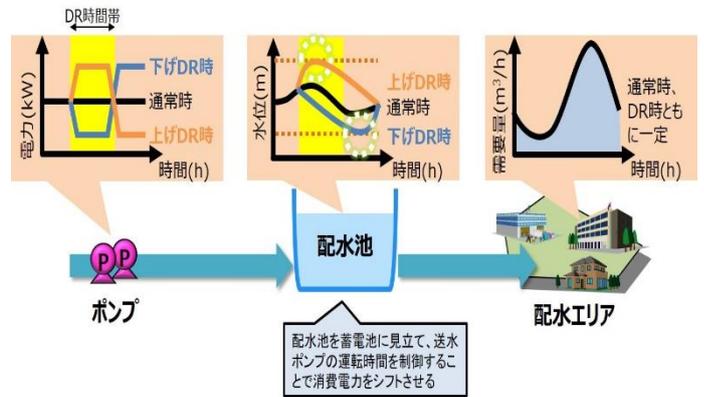
仮想発電所とは、需要家側である工場や家庭などが個別に所有している蓄電池、太陽光発電設備、電気自動車などのエネルギー資源をまとめ、遠隔・統合制御することで、あたかも一つの発電所のように機能させ、地域全体の電力を有効活用する取組です。

本共同研究は、水道局施設である配水池の貯水バッファを活用し、送水ポンプの吐出量を調整することで消費電力をシフトさせ、水の安定供給に影響を与えず、どの程度の電力調整が実現できるかを検証するものです。

仮想発電所の実現により、地域の再生可能エネルギーを無駄なく利用することができ、環境配慮やSDGsへの貢献が期待できます。



仮想発電所のイメージ



ポンプ設備の電力調整イメージ

### (2) 給水スポットの設置について



市民・お客さまに「安全でおいしい」水道水を飲んでいただくことで、水道水のおいしさを再認識していただく機会を提供するとともに、プラスチックごみや二酸化炭素削減のためにも、マイボトルを携帯して水道水を飲むという環境にやさしいライフスタイルへの移行を提案していくため、大阪市内各所に水道水を飲んでいただける給水スポット（デジタルサイネージ付きウォーターディスペンサー）を設置していきます。

#### 令和2年度設置予定場所

大阪城公園（3か所）
天王寺動物園
水道記念館

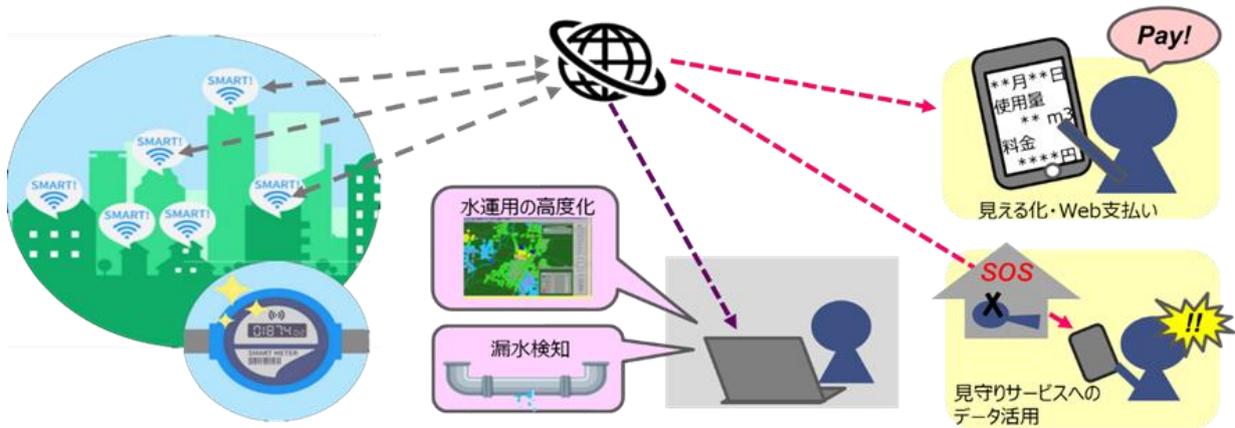


### (3) スマートメータ導入拡大について

無線通信を活用した水道スマートメータは、検針業務の効率化だけでなく、需要変動を含めた詳細なデータの把握・見える化により、お客さまサービスの向上、省エネルギーなど多くの効果が期待されます。

水道局では、市域の一部エリアへの先行導入や、産学官連携による実証実験を通じて、課題の検証や技術面・業務面でのノウハウの蓄積を図るとともに、他の水道事業者や関連する民間企業等と連携し情報共有・意見交換を行うなど、導入拡大に向けた取組を推進します。

水道スマートメータの利活用イメージ



## 大阪市水道局環境理念

大阪市は「水の都」と言われるように、古来、水とともに生き、水とともに栄えてきました。大阪市水道局もまた、一世紀を超える長い歴史の中で、琵琶湖・淀川水系の豊かな自然環境に育まれながら、水道事業を営んできています。

昨今、地球温暖化をはじめとする環境問題が世界的規模でクローズアップされており、水道第2世紀目に入った我が国の水道事業においても、人類の生命を支える安全で良質な水を確保するため、健全な水循環系の構築が求められているとともに、豊かな市民生活や高度な都市活動の一翼を担う都市基盤として、環境共生型の持続可能な社会を築く上で果たすべき水道の役割がますます重要なものとなってきています。

このため、今後、大阪市水道局は、省エネルギー対策やリサイクルの推進による環境負荷の低減、水源水質の保全に関する様々な取組はもとより、水道の有する施設や技術を活用した積極的な地球環境への貢献策を模索することにより、環境にやさしい水道システムを構築し、大阪市の一員として「環境先進都市大阪」の実現をめざしてまいります。

平成 17 年 3 月 制定



大阪市水道局の環境問題への取組やこの報告書についての

皆さまのご意見、ご感想をお待ちしています。



### お問い合わせ先



大阪市水道局

〒559-8558 大阪市住之江区南港北2-1-10

電話番号：06-6616-5405 ファックス：06-6616-5409

メールアドレス：[comp3@suido.city.osaka.jp](mailto:comp3@suido.city.osaka.jp)

### 環境報告書作成にあたって

令和3年3月発行

報告対象分野 水道事業、工業用水道事業

報告対象期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日（一部情報については令和2年度のものを記載しています。）

この報告書は、平成30年6月に環境省が公表した「環境報告ガイドライン（2018年版）」を参考に作成しました。